



# 04 福祉

平成 18 年  
(2006 年)

0歳から3歳の乳幼児が  
いる親とその子どもが気軽に  
集い交流できる、つどいの広  
場「ひよこ」が、鹿屋東地区学  
習センターにオープンしま  
した。



少子高齢化が進む時代  
の中で、幅広く適切な福  
祉サービスを実現するた  
めに、平成の30年間で鹿  
屋市に数多くの福祉関連  
施設が整備されました。  
保健相談センターや地域  
包括支援センター、ハグ・  
テラス等が新設されたほ  
か、星塚敬愛園は創立80  
年を超えました。赤ちゃ  
んから高齢者まで、歴史  
あるものから新たな取り  
組みまで、幅広い世代の  
人々の生活を支えるため  
過去から学び新たな時代  
が創られていきました。



## 「くしらふれあいセンター」オープン

平成17年

福祉活動の拠点として、児童ルームやシルバー人材センターのほか、浴場などが整備された「串良ふれあいセンター」が串良町有里にオープンしました。



## 「鹿屋市保健相談センター」開設

平成6年

母子保健や予防接種、成人病予防、健康増進などの総合的な保健事業の拠点施設である「鹿屋市保健相談センター」を北田町に開設しました。



## 平和都市宣言

平成19年

戦争のない平和な世界の実現を目指して、鹿屋市は「平和都市宣言」を行い、懸垂幕の掲揚や屋外看板の設置のほか、原爆パネル展が開催されました。



## 星塚敬愛園「第30回夏祭り納涼大会」

平成19年

星塚敬愛園で「第30回夏祭り納涼大会」が開催され、入所者や職員などによる踊りやカラオケが披露されたほか、花火も打ち上げられ、入所者は地域住民と一緒に祭りを楽しみました。



## 「大隅広域夜間急病センター」開設

平成23年

市役所北側の多目的駐車場内に、午後7時から翌日の午前7時までで内科・小児科の診療を行う「大隅広域夜間急病センター」が開設されました。



平成21年

「ハンセン病市民学会第5回総会・交流集会in鹿屋」が開催され、療養所の将来像や地域社会との共生、啓発活動のあり方などについて意見交換が行われました。



## 子育て支援住宅「ハグ・テラス」完成

平成30年

西原4丁目に、学童施設や子どもと一緒に利用できるカフェなどが併設された子育て支援住宅「ハグ・テラス」が完成しました。

# 年表で見る福祉

- 平成三年 3 「輝北町立歯科診療所」完成
- 平成五年 5 輝北町総合福祉センター「やすらぎの里」完成
- 平成六年 6 デイサービス事業開始(吾平町)
- 平成七年 7 在宅介護支援事業開始(吾平町)
- 平成七年 10 「鹿屋市保健相談センター」開設
- 平成七年 10 国立療養所星塚敬愛園創立60周年記念式典
- 平成八年 8 「輝北町在宅介護支援センター」開設
- 平成九年 9 地域子育て支援センター「ふたばRCルーム」開設
- 平成十年 10 保育所広域入所開始(輝北町)
- 平成十年 10 高齢者訪問給食サービス開始(輝北町)
- 平成十一年 11 「肝属地区介護保険組合」設立(2市9町)



平成8年  
(1996年)

## 「輝北町在宅介護支援センター」開設

高齢者が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らせるように、在宅の介護サービスについて24時間体制で相談等に応じる「輝北町在宅介護支援センター」が開設しました。



### Interview

まつだこどもクリニック 院長

松田 幸久 さん

まつだ ゆきひさ



約16年間にわたり県内の病院に勤務した後、大学時代の先輩に開業の相談をしたところ「大隅はどうだろうか」と提案を受け、平成13年に「まつだこどもクリニック」を開業。ご縁があり偶然西原に開業しましたが、周辺には保育園や小学校があり、子どもたちに囲まれた最適な場所だと後で気がつきました。

保護者からの強い要望もあり、平成17年に病児保育室「森のくまさん家」を開設し、生後6か月から小学6年生までの子どもたちを体調不良の際に預かっています。以前と比べて働くお母さんが増えていることもあり、遠くは垂水市や肝付町から来院されるなど大変喜ばれており、とてもやりがいがあります。

また、開業したての頃は考えもしませんでした。最近では身体のケアだけでなく、不登校など心のケアが必要な子どもたちが増えてきました。お父さんが一緒に来院することが多くなったのも時代の流れを感じます。

平成の約30年間で変わったことも多くありますが、診察をするうえで「保護者ではなく子どもたちの声をしっかりと聴く」という心構えは小児科医になった当初から変わっていません。それを今まで通り継続していくことで、子どもたちの健やかな成長につながればうれしいです。



## 高齢者訪問給食サービス開始

平成10年  
(1998年)

輝北町で、ひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦などに毎日昼食と夕食を届ける高齢者訪問給食サービス事業が始まりました。





## 2市9町で「肝属地区介護保険組合」を設立

平成11年  
(1999年)

平成12年にスタートする介護保険制度に向け、肝属地区内で格差のない事務運営を行うことを目的に、「肝属地区介護保険組合」が設立されました。



## 「県民健康プラザ健康増進センター」オープン

平成13年  
(2001年)

健康づくり広場やテニスコートに加え、温水プール、多目的温泉施設、トレーニング施設などが整備された「県民健康プラザ健康増進センター」がオープンしました。



- 平成十二年
  - 4 生きがい対応型デイサービス開始(輝北町)
- 平成十三年
  - 5 保健福祉ふれあい運動会
  - 6 やすらぎの里に公衆温泉(妙見温泉水)営業開始(輝北町)
- 平成十七年
  - 7 「県民健康プラザ健康増進センター」オープン
  - 3 「串良ふれあいセンター」完成
  - 4 「大隅児童相談所」開所
  - 8 病児保育室「森のくまさん家」開設
- 平成十八年
  - 10 国立療養所星塚敬愛園創立70周年記念式典
  - 1 1市3町の社会福祉協議会合併
  - 7 東地区学習センターにつどいの広場「ひよこ」オープン
  - 10 「鹿屋市ファミリー・サポート・センター」開所
  - 10 「地域包括支援センター(東部・西部・南部・北部)開設
  - 11 「肝属地区障がい者総合相談支援センター」開所(2市4町)
- 平成十九年
  - 5 リナシティかのやにつどいの広場「りな」オープン
  - 8 平和都市宣言



平成18年  
(2006年)



## 「肝属地区障がい者総合相談支援センター」開所

身体・知的・精神障がい者の相談業務等を一つの窓口で行う「肝属地区障がい者総合相談支援センター」が開所されました。



- 平成二十年  
④ 「串良さくら温泉」オープン
- 平成二十一年  
④ 「大隅肝属広域事務組合」発足
- ④ 串良ふれあいセンターにつどいの広場  
「ふれあい」オープン
- ⑤ ハンセン病市民学会第5回総会・交流集会 in 鹿屋
- 平成二十三年  
① 郵政事業株式会社と「高齢者見守りに関する協定」を締結
- ④ 「大隅広域夜間急病センター」開設
- ⑪ 西原・田崎地区学習センターにつどいの広場「ひまわり」「バンビ」オープン
- 平成二十四年  
⑦ 全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会総会
- 平成二十六年  
⑪ 「拉致問題を考える国民の集い in 鹿屋」開催
- 平成二十七年  
④ 「鹿屋市配偶者暴力相談支援センター」開設
- ④ ドライブサロン事業開始(小薄)
- ④ 「肝属地区障がい者総合相談支援センター」が「肝属地区障がい者基幹相談支援センター」に移行
- ⑩ ドライブサロン事業開始(高隈)



平成 21 年  
(2009 年)

## 「第100回鹿屋市吾平町敬老会」開催

吾平振興会館で、「第100回鹿屋市吾平町敬老会」が開催されました。この敬老会は明治42年から行われており、70歳以上の対象者が出席して皆で敬老を祝いました。

## Interview

鹿屋市民生委員

宮崎 恵子 さん  
みやざき けいこ



民生委員になったのは前任者からお話しをいただいたことがきっかけでした。障がいを持っていた祖母の世話をしていたことや何人かの生徒を相手に和裁教室を行っていたことから、声をかけてくれたのかもしれません。誰かの役に立てればということから民生委員になり、平成の時代はずっとその役割を担いました。

民生委員として様々な活動を行い、いろいろな人と関わってきましたが、地域の子もたちと顔見知りになって声を掛け合えるようになったことはとてもうれしかったです。子どもたちが、登下校中などに会うと、私の名前を呼んで話をしに来てくれたときは、民生委員をやっている良かったと感じる瞬間です。長い間、民生委員として活動していると辛いこともありましたが、地域の方と交流できて嬉しいこと、楽しいことのほうが多かったです。

民生委員としての私の任期もあと少し。今は新型コロナウイルスの影響で外出を控え、一日中家にいる高齢者も増えている状況です。その方たちが一人で亡くなるようなことがないように声掛けをしていきたいです。また、「助ける」という気持ちではなく、「寄り添う」ということを心掛けて民生委員の活動を最後まで全うしたいと思っています。



平成 23 年  
(2011 年)

## 郵政事業株式会社と「高齢者見守りに関する協定」を締結

ひとり暮らし等の高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし、孤立や孤独死を防ぐために、郵政事業株式会社と「高齢者見守りに関する協定」を締結しました。





## 「拉致問題を考える国民の集いin鹿屋」開催

平成26年  
(2014年)

市文化会館で、「拉致問題を考える国民の集いin鹿屋」が開催され、拉致被害者家族会による現状報告などのほか、被害者全員の帰国を願って「ふるさと」の合唱が行われました。



平成24年  
(2012年)

## 全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会総会

国立のハンセン病療養所が所在する12市町で共通する課題について協議などを行う「全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会総会」が、12年ぶりに鹿屋市で開催されました。



- 10 国立療養所星塚敬愛園創立80周年記念式典
- 平成二十八年
- 4 「鹿屋市地域包括支援センター」開設
- 4 「かわいい孫への贈り物事業」開始
- 4 「子育て世代支援センター(すくすくルーム)」開設
- 5 第12回ハンセン病市民学会・総会・交流集会in鹿屋
- 8 ドライブサロン事業開始(大始良)
- 11 星塚敬愛園入所者自治会発足70周年
- 平成二十九年
- 4 地域子育て支援センター「わかば楽楽」開設
- 7 おおすみ学舎が児童家庭支援センター「つながり」開設
- 8 ドライブサロン事業開始(花里・根本原)
- 8 民生委員制度創設100周年記念鹿屋市民生委員児童委員大会
- 10 障がい者支援施設「新樹学園」が星塚敬愛園の敷地に移転。名称を「新樹楽園」に変更
- 11 ドライブサロン事業開始(飯隈・南)
- 平成三十年
- 2 子育て支援住宅「ハグ・テラス」完成
- 10 ドライブサロン事業開始(吾平)
- 10 「ハグ・テラス」が「国土交通大臣表彰」を受賞



平成28年  
(2016年)

## 「かわいい孫への贈り物事業」開始



子育て世帯の経済的負担の軽減のため、満1歳未満の乳児の保護者に対し、紙おむつ購入にかかる費用の一部を助成する「かわいい孫への贈り物事業」が始まりました。